

# 院生スタッフによるラーニングサポート

## －理工学メディアセンターにおけるピアサポート事例報告－

いまい ほしか  
今井 星香  
(理工学メディアセンター)

### 1 はじめに

理工学メディアセンターでは、理工学研究科に在籍する大学院生（以下「院生」とする）スタッフが、主に学部生の学習に関する質問・相談に応じるピアサポート窓口として、「院生スタッフによるラーニングサポート」（以下「ラーニングサポート」とする）という活動を行っている。2015年5月の開始から3年が経過し、運営も安定してきたため、これまでの経過を振り返り、今後の課題や展望について述べたい。

### 2 発足までの経緯

ラーニングサポートは、塾生による塾生のための相談窓口「S-Circle」（エス・サークル）の活動を前身としている。S-Circleは、慶應義塾創立150年記念未来先導基金から助成金を得て、「学生スタッフによる図書館における新しいコミュニケーションの場の創生」のためのプログラムとして2010～2012年度まで活動し<sup>1) 2)</sup>、2013～2014年度は理工学メディアセンターの経常費により活動を続けた。S-Circleには、学部4年生と院生のアルバイト20名程度が在籍し、学習・学生生活などについて幅広く、かつ気軽に相談できる先輩としての役割の他、自ら各種イベントや展示を企画し、職員と協力しながら図書館に活気をもたらす役割も担っていた。

活発に活動していた一方で、運営上の課題も多かった。受け付ける相談の幅が広いことにより、対応が困難なケースや他部署業務と関連するケースにおいて、バックアップ側の図書館職員が学生スタッフを適切に指導・フォローできるのかといった職域上のリスクや、大勢の学生スタッフに目を配り、自主的かつ適切な活動を促し管理する職員側の負担の大きさなどである。

そうした中で、初期からその活動を支えてきた学生スタッフの大半が2014年度末に卒業を迎えるのをきっかけに関係教職員と協議を重ねた結果、

S-Circleは2014年度をもって終了することが決定した。ただし、その活動内容の中でも特に需要が大きく、図書館業務との親和性も高い学習相談に応じる活動を継続することにした。これが現在のラーニングサポート（図1）である。



図1 広報ポスター

### 3 ラーニングサポートの活動内容

学期期間中の所定時間に、当番の院生スタッフ1名が、レファレンスデスク内の専用席で待機し、学習相談に対応する（図2）。理工学部には11の学科があり、同じ理系と言っても専攻は多岐にわたる。



図2 相談風景

なるべく近い分野の先輩に相談できるように、ポスターやWebサイトでスタッフの所属学科や得意分野、担当時間を広報しているため、目的のスタッフを事前に確認してから来る相談者が多い。試行段階だった2015年度は5名のスタッフで月～金の各曜日を担当し、1日2時間のみだったが、2年目からはスタッフ数を約10名に増やし、1日あたり1.5時間×2名の計3時間実施している。

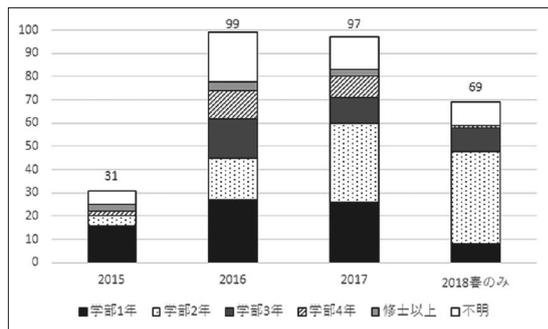
年間の相談件数<sup>3)</sup>を見ると、2015年度は初年度ということもあり31件に留まったが、2016年度は99件、2017年度は97件となっている。2018年度は春学期終了時点で69件となり、前年度のペースを上回っている。年間を通すと決して多いとは言えないが、試験期には混みあったり、常連の相談者が頼りにしてくれたり、一定の役割は果たせていると感じている。

相談者の内訳は、学部1、2年生が概ね6～7割を占めるのが特徴的である(表1)。当館がある矢上キャンパスは理工学部3、4年生および理工学研究科のキャンパスのため、隣の日吉キャンパスの1、2年生がわざわざ足を運んでいることになる。日吉キャンパスには7学部の教養課程があるが、大半は理工学部生からの相談であり、院生スタッフが、いずれ矢上キャンパスに進学してくる後輩たちに、自身の経験を踏まえながら親身にアドバイスしている光景がよく見られる。

専門課程に進むと、自身の勉強方法も確立されてくる上、身近に質問できる友人や先輩もでき、学習面での助けを必要とする学生は減ってくる。一方で、地理的に上級生と接する機会が少ない日吉キャンパスの学生は、勉強の質問ができる存在を求めていることが推測できる。

相談内容としては、概ね物理、数学、化学の順に多く、進路相談が来ることもある。

表1 学年別の相談件数推移



#### 4 日吉キャンパスへの出張相談

学習相談の需要が高くなる期末試験期には、日吉メディアセンター内で出張相談を実施している(図3)。日吉メディアセンターにも同様の学習相談に応じる学生スタッフはいる<sup>4)</sup>が、日吉キャンパスは文系の割合が高いこともあり、理系の質問に対応できる学生スタッフが少ない。また、期末試験期間中は活動休止で、さらに日吉キャンパスには、院生が理工学部の基礎共通科目の質問に応じる「チュートリアルアワー」もある<sup>5)</sup>が、こちらも期末試験中は実施されていない。



図3 日吉出張ポスター

そこで、期末試験期の1～2日間、ラーニングサポートのスタッフを日吉メディアセンターに派遣し日吉の学生のニーズに答えている。派遣できる人数により窓口は常時2～3名体制で、1日2～4時間の短期間にもかかわらず総じて相談件数は多く(表2)、理工学部生に限らず、文系の学生からも理系科目の質問が来て、行列ができることもある。もっと相談時間を増やしてほしいという要望もあるが、院生スタッフも各自の研究が忙しいこともあり、調整が難しいのが現状である。

表2 日吉出張の相談件数

年・学期	相談件数	実施体制
2017年・春	7件	3名 2時間×1日
2017年・秋	12件	3名 2時間×1日
2018年・春	28件	2名 2.5時間×2日

## 5 図書館スタッフとしての役割

院生スタッフはいずれも図書館アルバイトとして雇用している。本人の希望にもよるが、多くは週1回3時間勤務で、半分の時間はラーニングサポート、残りは図書の返本やシェルフリーディングといった図書館業務のサポートである。これには、図書館内で働いてもらう以上、ある程度は図書館について知ってもらい、高校生向けの館内ツアーや、イベントの司会などの業務も担えるようになってもらいたいという側面もある。また、相談者のいない時間には、スタッフブログ「実学のすゝめ」<sup>6)</sup>の執筆や、学生生活を紹介する展示作成(図4)の他、院生の知識を活かしたデスクワークをアサインしている。文系出身者が多い我々職員にとって院生スタッフは、理系の専門的なツールの使い方を聞けたり、特定分野の資料ガイドを作成してもらったりと、自身に足りない部分を補ってくれる貴重な存在でもある。また、理系学生の研究の様子や、日ごろどのように図書館資料を活用しているのかなど、リアルな声を身近に聞くことができるので、業務の参考になることも多い。



図4 高校生向けの学生生活紹介展示

## 6 今後の課題と展望

ラーニングサポートの活動は4年目になり、運営は安定期に入ったと言えるが、現在も課題がいくつかある。相談者からの信頼を得るには、院生スタッフの人数と質を確保し続けること、また、数学系、物理系、化学系と、対応可能分野が一通り揃っていることが重要になる。しかしながら、これまでのスタッフ募集では、思うように応募が集まらずに苦戦することも多い。応募が少ないのは、院生は研究が忙しかったり、すでに他のアルバイトをしていたりすることもあるが、広報不足も原因かもしれない。

これまでは結果的に運よく各分野で優秀なメンバーが揃ったが、今後も教員と連携するなど、採用の安定化を図る必要がある。

また、前述の通り、主な相談の需要は日吉キャンパスの1, 2年生にあり、地理的に離れていることの歯がゆさもある。それなら日吉キャンパスで活動した方がよいのではと思われるかもしれないが、日吉には「チュートリアルアワー」がある。それでもわざわざラーニングサポートを求めて矢上キャンパスまで足を運ぶ理由は、実施時間の都合や、図書館の中で相談できる気楽さかもしれない(チュートリアルアワーは教室内で実施)。日吉メディアセンターの学習相談で対応できない理系の相談の場合はラーニングサポートを紹介されることもあり、そして数は多くないが3年生以上にも一定の需要がある。学内に複数の受け皿があることは、相談者にとって有益と考えているので、引き続き関連部署と連携を取り、キャンパスを問わず理系の学習相談窓口として機能させていきたい。

担当職員や院生スタッフが入れ替わっていく中で、無理をしてサービスを拡大しても長続きしない。認知度をより高め、必要とされるサポート窓口として定着させるために、今後も少しずつ問題をクリアしながら、院生スタッフと一緒に最適解を求め続けていきたい。

### 注・参考文献

- 1) 向當麻衣子. 理工学メディアセンターS-Circle 活動報告: 塾生による塾生のための相談窓口. MediaNet. 2010, no.17, p.72-73.
- 2) 向當麻衣子. 理工学式「学生協働」をさがして: S-Circle の2年目. MediaNet. 2011, no.18, p.44-45.
- 3) 年間の相談件数には、日吉出張相談の件数は含めていない。
- 4) “学習相談”. 日吉メディアセンター.  
<http://www.hc.lib.keio.ac.jp/studyskills/consultation.html> (参照 2018-08-09).
- 5) “理工学部チュートリアルアワー”.  
<http://www.gakuji.keio.ac.jp/hiyoshi/rikou/tutorial.pdf> (参照 2018-08-09).
- 6) “院生スタッフによるラーニングサポート 実学のすゝめ”. 理工学メディアセンター.  
<http://riko-learningssupport.blogspot.com/> (参照 2018-08-09).